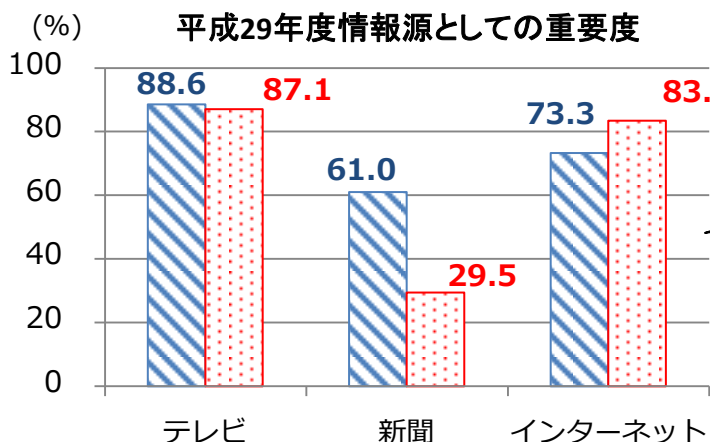


# メディアリテラシーを身につけよう

メディアリテラシーとは、テレビやインターネット、新聞や雑誌など各種メディアが発信する情報を見きわめ、情報を理解・活用する能力のことです。辞書や百科事典ではなくインターネットで調べることが一般的になっていますが、インターネットに出ている情報がすべて正しいとは限りません。これからは集めた情報を選択していく力が必要になります。



(参照) 総務省 平成28年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査

情報を得るための手段は「新聞よりもインターネット」という人が多くなったのは平成27年から。特に10代はその差が大きいですが、これは新聞を読んでいない人が多いため。ネットニュースの情報だけを信頼していて大丈夫？



アメリカの世論調査によると、マスコミを信頼している人は**45%**！（ギャラップ社調べ）

## 情報を受け取る立場での注意点

- ① 特定の情報から全体を判断しない
- ② 自分の信念に合わない情報に先入観を持たない・目をそむけない
- ③ 既に知っている情報が正しいとは限らない
- ④ 見慣れているもののみに好感を抱かない

## 情報を発信する立場での注意点

- ① 面と向かって言えないことは書かない
- ② 自分や友人・家族の個人情報を書かない
- ③ 単なる悪ふざけでも脅迫めいた書き込みはしない
- ④ なりすまし投稿による誹謗中傷はしない
- ⑤ 動画のアップロードとダウンロードに注意

「これくらいなら平気だろう」が犯罪に！？

## 手軽だからこそよく考えて

- ◆ 感情に任せたりやり取りをしない。
- ◆ 匿名だからバレない、鍵付だから大丈夫とは限らない。書き込みの内容に注意しよう。



## 公開範囲はどんどん広がる



②友達が「いいね！」を押すと



- ※公開範囲の設定を考えること
- ※他人の投稿を勢いでリツイート又は拡散しないで一度考えること
- ※顔写真は自分の重要な**個人情報**
- ※友達との写真を無断で投稿しない

ネットの向こう側の人を見極めることは大人でも簡単ではありません。「人とのやり取りにより生じる危険＝コンタクト・リスク」を避けるためには、データから背景を想像し、そのリスクの存在を知っておくことが必要です。(総務省総合通信基盤局)

ネット上での記録は削除しても永遠に残るもの。進学や就職の時に不利になることもあります！